

提言書

高規格道路は、経済活動を支える重要な社会資本であるとともに、自然災害への備えを高める上で不可欠な基盤です。喫緊に迫る南海トラフ地震のリスクと気候変動の影響等で激甚化・頻発化する自然災害の脅威、物価高騰等で疲弊した地域経済の復興等に対応していくため、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が重要となります。

このため、四国の総意として、次の事項について提言します。

- 一、地方創生2.0により強い地方経済を創出し、日本全体の経済の活力を取り戻していくため、国内投資拡大や生産性向上につながる高規格道路の整備など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること
- 一、国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算については、能登半島地震やハ潮市の事故を教訓とした自然災害への対応や老朽化対策、急激な資材価格・人件費高騰等の影響を適切に反映し、予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること
- 一、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向け、事業中箇所 の整備を促進するとともに、開通時期を早期に提示すること
- 一、計画段階評価の完了区間を早期に事業化するとともに、実施中区間の計画段階評価を早期に完了させること
- 一、有料の高速道路について、料金徴収期間の延長による財源を活用し、更新事業等や耐震補強、暫定二車線区間の四車線化などの機能強化を着実に進めること。また、四車線化が行われるまでの緊急安全対策を推進すること
- 一、高速道路の更なる利活用を促進し、カーボニュートラルの推進やドライバー不足への対応の観点から、ピンポイント渋滞対策の実施及びスマートICの整備、ETC専用化、休憩施設の機能強化等を推進すること

これらの項目を踏まえ、地方創生を実現し、日本経済の活力を取り戻すため、資材価格などの上昇に対応する中でも計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和八年度予算では「8の字」をはじめ四国の道路整備関係予算は、所要額を満額確保すること。また、国土強靱化のみならず我が国の生産性を向上させ、成長力・国際競争力を強化する観点からも、公共事業を含む令和七年度補正予算を確保すること。

令和七年十月十七日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会



書一葉舟

四国経済連合会会長	長井啓介
徳島県知事	後藤田正純
香川県知事	池田豊人
愛媛県知事	中村時広
高知県知事	濱田省司